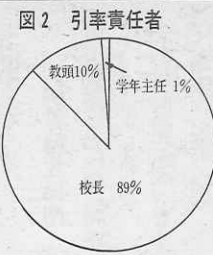


三、旅行中の行動に関する事項

16 修学旅行の引率責任者は次のどなたでしたか。
【校長89、教頭10、その他1】
引率責任者は、99%が管理職となっている。学校教育はよくても悪くても校長が全責任を負っている。もし現場にいたならばどの悔いを残さぬよう心掛けたい。



17 保健関係で、次のどなたが同行しましたか。
【医師0、看護婦・保健婦12、養護教諭94、特になし4】
特に保健関係者が同行しない学校が9校ある。泊3日程度の日程であるが、生活環境、食物が一変する中で心身に不調をきたす者も多い。可能な限りこの種の関係者の同行が望ましい。看護婦・養護教諭の複数回答もあるが、医師同行は今回は1校もない。18 健康保険証(または手し)を携帯させましたか。
【携帯した94、携帯しない6】
写しでは、役に立たない場合がある。実物を携帯するよう指導された。今回、携帯した学校は4%増の26校となった。

四、宿舎に関する事項

28 宿舎を決定する条件として、最も重要視していることをお書きください。

- ・安全防災【45】
- ・一校一館【25】
- ・設備備品【18】
- ・交通至便・環境【17】
- ・生徒指導・管理【9】
- ・保健衛生【8】
- ・食事・サービス【8】

旅行の計画は宿のよしあしで左右される。学校行事である修学旅行は、生徒の安全確保の上で成り立つ。そのため宿舎決定の第一は安全防災面が何物にも優先する。回答は実にこれを示している。
また、一校一館主義は、他校や一般客との無用なトラブルを避け、生徒指導面での有利性を求める結果である。しかしこれは、修学旅行宿舎・生徒数の減少等によって、思うにまかせないのが現状である。

その他には、分宿不可、連泊確保、ホテル型限定、一泊はホテル・一泊は旅館、クレディットなどがある。実物を携帯するよう指導された。今回、携帯した学校は4%増の26校となった。

合がある。実物を携帯するよう指導された。今回、携帯した学校は4%増の26校となった。
19 修学旅行の集合地、解散地についてお答えください。
【集合地【学校49、最寄駅39、その他12】
解散地【学校49、最寄駅37、その他14】
学校集合、解散が望ましいが、一方に時間の有効利用をとの前提がある。その他の地点として、東京駅、名古屋駅、学校付近のバス停が挙げられている。
20 行動中の服装は次のどれに当たりますか。(フスキー、登山、体験学習等の服装を除く)
【平常の通学服94、ジャージ類に統一3、その他3】
服装は目的地によって左右される。東京、京都、奈良等都会地を目指す学校は平常服で、信州方面へはジャージ類が多い。
21 帽子、胸章、腕章で一眼して自校生とわかる識別章を使用しましたか。
【使用した23、使用しない77】
多数の学校が入り乱れる駅頭や、定評のある見学者で、これが便利でもあり、生徒の自覚を促す効果もあるが、使用率は前回の33%から23%に激減した。
22 グループ行動にタクシーの使用を認めましたか。
【認めた16、認めない74、前もって全員分を用意10】
今回は、三番目の選択肢を追加した。前もって用意した学校は関東19校、東海2校、近畿2校の計23校、認めた学校は関東23校、東海6校、近畿6校の計35校で、京都を見学する関東の学校の半数近くがタクシーを利用している。
23 旅行中の買い食い(ジュース類を含む)を認めましたか。
【認めた47、認めない34、ジュースのみ認めた19】
保健対策上認めないに越したことはない。ただし日中の買い食いを認めた学校は、51%から34%に激減。自主見学の関係がうかがえる。
24 夜の外出を認めましたか。
【認めた23、認めない77】
認めた23%は52校の内訳は八全で38校、学級単位で5校、グループで9校、個人で0校、地区別では関東38校、東海4校、近畿11校である。自主見学の普及により、夜の外出禁止は増加の傾向にある。宿舎内での効果的活動研究の結果でもある。
25 利用した交通機関をすべて挙げてください。
26 23校の利用状況は、上位から順に次のとおりである。
バス21校、新幹線20校、在来線18校、私鉄9校、地下鉄2校、タクシー38校、船舶35校、このほか、ケルベール、ロープウェイ、トロリーバス、レンタサイクル、レンタカー(近畿の小規模校)などがあり、航空機は近畿の2校が利用している。



送りましたか。
【行つた25、行かない75】
これは最近目立って来た現象で、生徒の必要最小限の持ち物以外を宿舎までトラックで一括送付していく方法である。前回の10%から25%に激増。関東と東海が顕著である。
27 生徒の持物を一括して搬送しましたか。
【行つた25、行かない75】
これは最近目立って来た現象で、生徒の必要最小限の持ち物以外を宿舎までトラックで一括送付していく方法である。前回の10%から25%に激増。関東と東海が顕著である。
28 宿舎を決定する条件として、最も重要視していることをお書きください。
【安全防災【45】、一校一館【25】、設備備品【18】、交通至便・環境【17】、生徒指導・管理【9】、保健衛生【8】、食事・サービス【8】】
旅行の計画は宿のよしあしで左右される。学校行事である修学旅行は、生徒の安全確保の上で成り立つ。そのため宿舎決定の第一は安全防災面が何物にも優先する。回答は実にこれを示している。
また、一校一館主義は、他校や一般客との無用なトラブルを避け、生徒指導面での有利性を求める結果である。しかしこれは、修学旅行宿舎・生徒数の減少等によって、思うにまかせないのが現状である。



安全快適な新幹線は修学旅行に不可欠

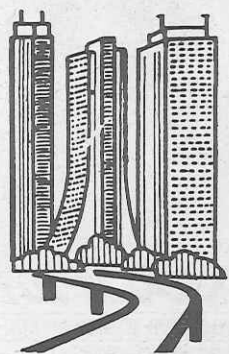
五、事後指導に関する事項

43 今回の修学旅行で、安全対策上学年に対する申し送り事項がありましたら御記入ください。
【点検した59、未点検41】
食事の満足度は、旅の大きな部分を占める。衛生状態では無問題であるが、内容が生徒の好みに合うか、質や量が金額に相当しているかは、おおよその見当がつく。宿舎側の勉強を促す意味もあって、

IV むすび

以上で平成三年修学旅行修学旅行安全対策実態調査のまとめを終了する。
安全対策の啓発、促進をねらいとして、平成元年度から三年間継続し、この調査を行ったが、目まぐるしく変化する社会情勢の中で、修学旅行も様変わりを経ており、最も重要な安全対策の改善、再確認に役立つ部分が多々あったと信じている。
班別自主見学の普及、修学旅行のシーズン集中と一校一館主義に伴う宿舎不足など、安全対策の対象にも変化がみられ、やむを得ずは天災や食中毒の対策の影が濃くなりつつあるが、この調査による回答には、年々改善の跡が読み取れる項目が多く、それなりに成果があったと考えられている。

首都東京を見て、何かを!

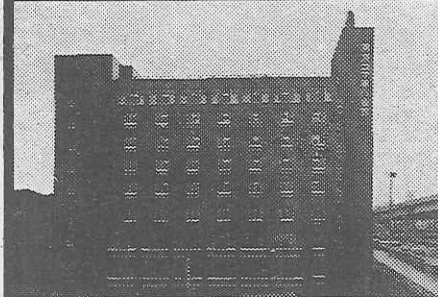


東京ドームもすぐ近く
お泊りは 都心の
経験豊かな

本郷の旅館へ

本郷旅館協同組合

〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-3813-9381



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む
東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、
修学旅行の皆様へ、より有意義な旅行を
していただくために、清潔で低廉に、し
かも最新の設備をほどこした全館和室の
観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03) 3585-1046 (代表)

東京 コマ旅行会館

